

令和5年度「府民躍動 雇用応援★夢プラン」推進会議 結果概要

令和6年1月25日、令和5年度「府民躍動 雇用応援★夢プラン」推進会議が開催され、令和5年9月までの取組状況、6年度の雇用政策の方向等について意見交換が行われました。

日 時

令和6年1月25日（木）9:00～10:30

場 所

WEB会議

出席者

久本会長、上田委員、中谷委員、秦委員、原委員、原田委員、宗田委員、和田委員
オブザーバー：青山氏、山下氏
(以上10名)

議事等

令和4年度及び令和5年度上半期取組状況、令和6年度雇用政策の方向等について

主な意見等

【最近の雇用情勢、取組状況について】

- ・現在の新卒の就職状況は良く、人手不足もあり東京企業の採用意欲が高い。いかに、京都企業の魅力を高めるかに尽きると思うので、経済団体とも一緒になって取り組んでいく必要がある。
- ・ITリテラシー能力を基礎とした育成を「DX人材」として育成するということに、施策として少し心許ない。取組内容を具体化し、府民への説明責任を果たしながら進めていくことが重要である。

【令和6年度の雇用政策の方向について】

(学生の就職支援)

- ・今は優秀な若者が離職することが多く、自分の能力をアップデートできる会社に移るというマインドに変わってきているが、そのことを理解できない古い企業体質がある。京都には優秀な人材が集まっているが、その人材が入らない企業も多いということにも着目すべき。
- ・京都は大学の街、留学生が多いということが特徴なので、京都企業が留学生の採用を進めていくことを京都府の特色として進めていただけると有難い。
- ・求職者支援だけでなく、企業支援、特に企業の方に対する意識改革の取組も非常

に大切だと思う。府内中小企業の方が学生の方と交流しても、自社の魅力や労働条件、キャリアパスについてうまく説明できないことが非常に多い。学生との交流を通じて、企業自らが変革していくための支援が必要に感じる。

- ・学生の就職する際に、企業側が労働条件等を答えたがらないという風土を変えていただきたい。

(人材育成)

- ・デジタル人材育成に関して、行政においても、世間で求められているアドバンスなスキルを習得できるよう支援し、就職に繋げることが必要ではないかと思う。民間での資格習得支援を受けられない方向けの支援など、日本のモデルのような仕組みが必要だと思う。
- ・北部地域における、ものづくり人材の確保や技術伝承に関して支援をしっかりと取り組んでいただきたい。

(ダイバーシティ)

- ・人生 100 年時代を見据え、高齢者のリスクリング等を通じた労働施策は大変重要である。高齢者が活躍することは、国民医療費の負担を、ある程度高齢者が支えていく制度設計の変更も必要になるだろう。また、女性のリスクリング施策も点検する必要がある、高齢者・女性施策は行政が丁寧に取り組んでいく必要がある。
- ・人手不足社会の中で、外国人労働者の活用が必要で、その場合の大きな課題は、日本語教育の問題である。京都府内には優秀な人材がたくさんいるので、例えば、学生に北部地域の外国人労働者の夜間日本語教師になってもらうなど新しい切り口の施策が必要に思う。活力ある高齢者やシングルマザーの方々との協働など、高齢者、女性、外国人などのダイバーシティの新たな仕組みが必要に思う。
- ・社会課題解決に取り組む事業者や従業員が、他の企業と同様に充実して働ける労働環境が整うよう、民間企業への呼びかけだけでなく行政としての施策やリーダーシップを発揮してほしい。
- ・就職氷河期世代支援については、スキルアップ支援とともに、インターンシップなどの人間力を養える支援が重要である。